

文学研究科 博士課程後期課程

教育研究上の目的

文学研究科博士課程後期課程は、博士課程前期課程での教育内容をさらに深め、人文諸科学（日本文学・中国学・書道学）の真髄を理解し、かつそれに関するより広範な知識を修得し、新しい価値観を創造して人類文化の発展に寄与することができる高度な研究能力及びより専門的な職業能力を持った人材の養成を目的とします。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

文学研究科博士課程後期課程は、教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属研究科において定める専門分野に関する次のような高度な能力を身につけ、博士論文が審査のうえ合格と認められた学生に博士(日本文学・中国学・書道学)の学位を授与する。

1.

- (1)日本文学・中国学・書道学の各分野において、より高度で専門的な学識を修め、深い知識を持ち合わせている。
- (2)日本文学・中国学・書道学の各分野が求める高度な専門技能を身につけ、それらをもって積極的に社会に貢献することができる。

2.

- (1)日本文学・中国学・書道学の各分野における学修・研究課題について、幅広く深い専門的な知見をもとに、その対応方策について論理的に思考・考察・判断し、結論に至るまでの的確に表現し発信することができる。

3.

- (1)日本文学・中国学・書道学の各分野における学修・研究課題を明確に意識し、それらに意欲的に取り組み、その成果を生かす高度な研究者・専門的職業人として積極的に社会に貢献することができる。
- (2)多文化共生に関する諸問題について広く関心を持ち、東西文化の融合を探究することができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

文学研究科博士課程後期課程は、修了認定・学位授与方針に掲げる能力を修得させるために、以下のような内容、方法、評価の方針に基づき、教育課程を編成する。

1. 教育内容

- (1)日本文学・中国学・書道学の3専攻のそれぞれに、博士論文作成を目標とする研究指導科目として演習科目を設け、研究指導教員が指導する。
- (2)日本文学・中国学・書道学の3専攻のそれぞれに、特殊研究と関連科目の講義科目を設ける。

2. 教育方法

- (1)演習科目では、前期課程における個々の研究を更に深め、学界に通用する研究論文、博士論文作成を目指し、研究指導教員が指導する。
- (2)特殊研究と関連科目の講義科目では、研究に必要な文献読解能力を養成し、各分野における高度な専門的知識を修得する。

3. 評価方法

- (1)学位授与方針で掲げられた能力の達成状況を、文学研究科3専攻各々における単位取得状況、研究指導受講状況、学位論文等の結果によって評価するものとする。
- (2)3年間の総括的な学修成果として、複数教員による論文の評価を行う。
- (3)各年度末に「大学院生研究活動報告—文学研究科—」を提出させ、評価の参考とする。

入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

文学研究科博士課程後期課程は、教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）に基づき、次のような要件を備えた受験生を各種選抜試験によって受け入れる。

1.

- (1)博士課程前期課程・修士課程レベルにおいて修得した知識・理解を基に、日本文学・中国学・書道学の各分野において、さらに高度な専門性を修得しようとする意欲がある。
- (2)日本文学・中国学・書道学の各分野が求める高度な専門技能を身につけ、それらをもって広く社会に貢献しようと志している。

2.

- (1)日本文学・中国学・書道学の各分野における学修研究課題を明確に意識し、その対応方策について適切に思考・考察・判断し、それらを明晰な論理によって表現し、広く発信することを目指している。

3.

- (1)日本文学・中国学・書道学の各分野が求める高度な専門能力を身につけ、その成果を国際的水準において実現し、広く発信していくことを目指している。

